令和６年度

社会福祉法人　総社市社会福祉協議会

事　業　報　告

☆重点事業

<table>
<tr><td rowspan="4">【総社市社会福祉協議会　基本方針】

すべての住民が
自分の住み慣れた地域で
自分らしく生き生きと
豊かに暮らせる
ふれあい、助けあい、支えあい
のある

住民主体の
福祉コミュニティの実現</td><td>1．総務企画課
①持続可能な組織基盤（財政・人材・事業）体制の強化
②社会福祉協議会会員加入の推進
③「社会福祉協議会活動」における広報啓発活動の充実</td></tr>
<tr><td>2．地域共生推進課
①地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
②福祉委員活動及び子ども福祉委員活動の推進
③ボランティアセンター事業の強化（ボランティアの育成と福祉教育）
④新型コロナ特例貸付借受世帯に寄り添った相談支援の推進</td></tr>
<tr><td>3．相談支援課
①障がい者地域活動支援センター事業の推進
②障がい者千五百人雇用センター事業の推進
③ひきこもり支援事業の推進
④多機関の連携・協働による複合的な課題への対応</td></tr>
<tr><td>4．在宅福祉課
①介護保険関連事業の推進
②障がい福祉サービス事業の推進</td></tr>
</table>

１．法人運営事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①組織運営		
・理事会の開催	３回（６月・10月・３月）	３回（６月・12月・３月） 令和５年度事業報告・収入支出決算 備品等購入資金積立金の取崩しについて 定款の一部変更について 令和７年度事業計画・収入支出予算
・評議員会の開催	３回（６月・11月・３月）	３回（６月・12月・３月） 令和５年度事業報告・収入支出決算 理事の選任について、定款の一部変更について 令和７年度事業計画・収入支出予算
・評議員選任・解任委員会の開催	随時	１回（６月）
・監査会の開催	１回（５月）	１回（５月）
・中期経営計画の進捗管理	随時（課長・係長会議）	５回（７月･８月･９月･10月･11月）
・事業継続計画（BCP）の見直し	随時	随時
・ＡＩを活用した業務効率化	業務課題の抽出及び調査研究	活用方法を検討
②人材育成		
・職員採用計画の策定	１回（４月）	１回（４月）

・職員研修の開催	６回（４月･６月･８月･10月･12月･２月） コンプライアンスに関すること、経営状況及び予算内容等	10回 第１回：社協について／災害ボラセン報告 第２回：接遇研修報告／社協内部事務研修 第３回：国民健康保険料の免除制度 第４回、５回：ハラスメントについて①② 第６回：役職員研修 第７回：福祉委員フォーラム 第８回：災害Ｖｏセンター設置演習 第９回、10回：職員ＣＳＷ研修①②
・職位別研修の受講	県社協が主催する「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」を受講 目標：主事級：２名、主任級：２名、係長級：２名、課長級以上：２名	主事級：２人 主任級：２人 係長級：２人 課長級：２人
・専門研修の受講	随時	接遇セミナー　４人 地域福祉実践研修　３人 市町村社協機能強化セミナー　１人 中堅職員重点テーマ強化研修　２人 社協基本要項フォーラム　５人 伴奏型支援基礎講座　１人
・役職員研修の開催	１回（11月）	１回（１月） 地域共生社会における社協の役割について
・学会等での研究発表	１回	研究：ボランティアニーズに関する調査
③福祉関係機関、団体との連携		
・福祉団体助成の実施	12団体:各団体へのヒアリングを随時行う	12団体

④社会福祉協議会会員加入促進と強化		
・賛助会員、特別会員の拡充	法人、団体の加入促進 目標：前年度比増	6月～3月　実績：14,133,280円 加入率：52.0% 社協パンフレットを配付し、本会ホームページ及び社協だよりにて周知。 商工会議所と協議の上、法人、団体への加入促進を図る。
・未加入地域へのアプローチ	地区社協等と連携しながら随時実施	地域への説明会：１回（神在）
⑤社協活動の周知・啓発への強化		
・社協だよりの発行、充実	３回（７月・11月・３月） 目標：バナー広告の掲載を検討	３回（７月・11月・３月） 広告掲載の募集を行う
・社協パンフの配付	７月～３月(社協会費募集に併せて配付) 目標：リニューアルを検討	７月～３月（社協会費募集に併せて配付） 社協パンフレットリニューアル
・ホームページの更新、充実	新着情報（事業の報告や紹介等）の充実	140回
・SNSによる情報発信	Facebook、X等を活用し情報発信を行う	フォロワーFacebook：2,062人、X：2,150人
⑥民生委員互助共励事業の実施		
・会員の死亡や疾病、災害にかかる弔慰金、見舞金の手続き	民生委員互助共励事業運営要綱に基づき実施	傷病見舞：１件 退任慰労：４件
⑦視察研修事業		
・視察受入	各課月１件程度	20件
⑧第２次総社市地域福祉活動計画の進捗管理		
・地域福祉活動計画の年次評価	１回（３月）	１回（11月）

２．共同募金・歳末たすけあい運動・赤十字事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①共同募金・歳末たすけあい運動の実施		
・共同募金運動の推進（周知・啓発強化）	10月～１月 目標：達成率85%	10月～１月　実績：9,012,143円 達成率：77.8%
・共同募金ポスター作品コンクールの実施	１回：市内小中学校へ依頼	応募：79作品 授賞式開催：10月１日　天満屋リブ総社店 最優秀賞：１作品　　優秀賞：11作品
・寝たきり者への友愛訪問事業（歳末たすけあい運動）の実施	12月 事業分析から新規事業も検討する	12月　友愛訪問事業　対象者：39名
②赤十字事業の実施		
・赤十字会員増強運動の実施	５月～12月 目標額（総社市地区）：9,008,700円 （岡山県支部：7,033,000円）	５月～12月 協力件数：10,658件 実績：8,800,900円　達成率：125.1% 日赤活動資金増強運動協議会：４月26日
・災害救護事業の実施	随時（火災等の被災者へ見舞金や救援物資を支給）	救援物資：３件（窪木、秦、井尻野） 見舞金：３件（窪木、秦、井尻野）
・赤十字奉仕団活動の充実	赤十字奉仕団活動への支援（地域での防災訓練や研修会企画）	研修会：６件（阿曽、総社、常盤） 救急法：２件（下原、常盤）
・講習会等の広報活動	ふれあいサロンや各種団体への周知	健康生活支援講習：14件（ふれあいサロン、愛育委員協議会、栄養改善協議会等） 地域のイベントでのパネル展示（清音、山手）

３．災害救援活動、災害救援募金の実施

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①災害救援活動、災害救援募金等の実施		
・災害救援活動	他市町村等の大規模災害時での災害救援活動（職員派遣）	能登半島地震災害（能登町）：１人 能登半島豪雨災害（輪島市）：１人
・災害救援募金及び義援金の実施	発災状況等に応じた迅速な受付窓口の開設	令和６年度能登半島地震災害義援金 令和６年９月能登半島大雨災害義援金

４．福祉センター管理運営事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①総社市総合福祉センターの管理運営		
・ボランティア団体の活動拠点	随時	1,210回：福祉団体、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ等

５．その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①関係機関の委員等への就任		
・関連機関の委員等就任（役職員等）	総社市主催の主要会議（総社市総合計画審議会、総社市全国屈指福祉会議等の委員就任）岡山県社協、岡山県共同募金会等に参画	総社市総合計画審議会、総社市全国屈指福祉会議、岡山県共同募金会

６．地域福祉事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進		
・地区社協会長会議の開催	４回（４月・７月・10月・３月）	４回（４月・７月・１２月・３月） 主なテーマ：地区社協活動の振り返りシートの活用、地区社協だよりのホームページ掲載について
・地区社協活動（地域生活課題の解決に向けた事業展開）の検討	14地区	14地区において、運営に関する話し合いの場や座談会及びみんなの会議等により地域の現状や課題を共有した。地区社協事業が地域課題に応じたものになっているか地区社協事業を振り返るためのシートを作成した。
・小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携	21地区・５圏域	21地区・５圏域へ参画
・地区社協活動の推進 （敬老事業、多世代交流事業、見守り訪問等）	14地区 地区担当職員の配置	14地区 コミュニティソーシャルワーカーの配置
・地区社協だよりの発行	１～２回（14地区）	１～２回（１４地区）
②民生委員･児童委員活動との連携		
・市民生委員児童委員協議会への参加	随時	随時（地区会長会議へ参加）
・地区民生委員児童委員協議会定例会への参加	１回/月・16地区	１回/月・16地区（延192回）
・民生委員･児童委員の地域福祉活動を支援	16地区（地区担当５人）	16地区（地区担当５人）
③福祉委員活動の推進		

・福祉委員の委嘱	委嘱数595人	委嘱数590人
・市福祉委員協議会の活動支援	５回（６月・８月・10月・12月・３月）	６回 （4月・7月・8月・10月・1月・３月） 主なテーマ：福祉の支えあいフォーラムin総社２０２４について、福祉委員の実費弁償について、総社市福祉委員協議会研修会について、福祉委員基礎研修について
・地区福祉委員会活動の推進	14地区	14地区
・民生委員･児童委員と合同研修会の開催	14地区	14地区
・「福祉委員だより」の発行	２回（９月・２月）	２回（８月・３月）
・子ども福祉委員活動の実施	新規２地区（小学校区）に設置	既存３か所設置（久代・山田、昭和、池田）新規０か所だが、清音地区にて子ども福祉ｻﾎﾟｰﾀｰとしての活動が始まる。
・福祉のささえあいフォーラムの開催	１回（８月） テーマ：地域共生社会について	１回（１２月）参加人数：278人 テーマ：地域のつながりを創る住民主体の支えあい活動内容：新崎国広氏による基調講演及び市内４団体による実践報告
④ふれあいサロン事業の推進		
・ふれあいサロン運営支援及び立ち上げ支援	設置：210か所	設置：200か所 高齢：193か所、障がい：２か所、子育て：５か所

・ふれあいサロン交流会の開催	２会場（２月）	３会場（２月） 参加人数 総社・服部・阿曽・秦・神在　：71名 常盤・清音・三須・山手　　：38名 池田・久代・山田・新本・昭和：50名 講演：「ふれあいサロン活動について」 講師：岡山県立大学　保健福祉学部　現代福祉学科　　准教授　佐藤　ゆかり　氏
⑤ボランティアセンター事業の実施		
・周知啓発	フォロワ―数120人 （Facebook） 登録者数80人（公式LINE）	フォロワー数123人(Facebook) 登録者77人（公式LINE）
・ボランティア（グループ、個人）活動の支援	64グループ	63グループ
・ボランティア活動のコーディネート	延250件	延204件
・ボランティア養成講座の開催	目標：養成40人 内容：ボランティア活動（入門編）	参加者：24人 内容：ボランティア活動（入門編）
・高校生ボランティアリーダー養成講座の開催	目標：養成20人	８人 講座内容：①「ボランティア基礎講座」 ②「ディスカッション～若者にボランティアを広めるには」 ③「イベントについての検討」 ④⑤「企画実施に向けての検討」 ⑥「高校生企画の実践」 ⑦「活動の振り返り・報告会に向けての準備」 ⑧「報告会」

・学生ボランティアチームの登録者	目標：10人	５人 内容：SNSへボランティア啓発記事の投稿
・夏のボランティア体験事業の実施	目標：受入施設45か所 目標：参加者数400人	受入施設：51か所 参加者数：319人
・ジュニアボランティア養成講座の開催	目標：養成15人	11人
・ボランティア連絡協議会の支援	委員会：６回、交流会：１回	委員会：６回　交流会１回
⑥ボランティアセンター運営委員会		
・運営委員会の開催	２回（５月・３月）	１回（５月）
・ボランティア推進部会の開催	２回（10月・１月）	１回（２月） 内容：総社市の２０代から６０代のボランティア活動の実態調査について
・災害ボランティア部会の開催	２回（６月・２月）	２回（７月・２月） 内容：令和６年度総社市災害ボランティアセンター設置演習について
・災害ボランティアセンター設置演習の実施	１回（10月～1月）	１回（令和７年２月）参加人数62名 講師：新見公立大学 教授　山本　浩史　氏 内容：仮想の被害状況を設定し、被災者役・ボランティア役等を割り振り、受付から活動、振り返りまで実践に沿った演習を行った。
⑦福祉教育の推進		
・社会福祉学習支援事業の実施	各小中学校及び企業等	市内小学校（12校）、市内中学校（１校）

・県立高校の社会貢献活動と連携	市内２校	市内２校（11件）
・福祉教育セミナーの開催	１回（２月） 内容：市内で実践している福祉教育を知る	１回（２月）参加人数32名 講演：「つながる福祉教育の魅力」 講師：ノートルダム清心女子大学 准教授　中井　俊雄　氏 実践報告者：秦小学校 やまて認定こども園
・福祉学習メニューの拡充	ふくしネットそうじゃ参加法人との連携	小学校で実施した福祉学習のうち７回に、７法人の職員（計10人）が同席
⑧生活福祉資金等の貸付		
・生活福祉資金の貸付	随時	相談件数：39件
・緊急援護資金の貸付	随時	相談件数：43件（36件償還済）
・新型コロナ特例貸付相談支援	対象世帯数：605世帯 全対象世帯へのアプローチ （電話･訪問･紙面等による相談支援） 出張相談会の実施（５圏域×３回）	令和５年度未応答世帯へのアプロ―チ 郵送：361世帯 電話・訪問等による相談対応件数：158件
⑨子育て支援事業の実施		
・子育てサロンの支援	６か所	５か所
・地域密着型子どもまつりの開催支援	８地区	６地区（清音､服部、山手、久代､新本､昭和）

・子ども食堂開設、運営支援（助成事業）	目標：新規２か所 助成：９食堂	新規１か所（池田地区：スマイル食堂） 助成：立ち上げ支援　1食堂 運営継続支援　8食堂 つながり支援　1食堂 発展支援　1食堂
・子ども食堂連絡会、報告会の開催	連絡会：２回（６月・12月） 報告会：１回（３月）	連絡会：２回（６月・12月） 第１回「子ども食堂パンフレット作成について」「食中毒の予防と注意点・食品アレルギー症状の対応方法（研修）」 第２回「子ども食堂パンフレット作成について」「子ども食堂の活動報告及び情報交換について」 報告会：１回（３月）参加人数54名 講演「子ども食堂と地域とのつながり」 講師：美作大学　講師　松尾　彰　氏 報告：「ほのぼの」「スマイル食堂」
⑩福祉団体の支援		
・老人クラブ連合会（いきいきシニア総社）	55単位クラブ	50単位クラブ
・ひとり暮らし高齢者の会（松寿会）	85人	78人
・総社介護者の会	20人	18人
⑪社会福祉法人の公益的な取り組みへの参画（19法人参画）		
・総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（ふくしネットそうじゃ）の運営（総会・役員会・部会の開催）	総会１回、役員会２回 各部会２回（事業部会・調査研修部会）	総会１回、役員会３回 各部会２回（事業部会・調査研修部会）

・各機関で把握している「要支援者」の情報（ニーズ）の把握	随時	随時
・社会貢献活動の実施	くらし応援事業、しごと応援事業、安心すまい応援事業、子育て応援事業、新たな取り組み応援事業	くらし応援事業、しごと応援事業、安心すまい応援事業、子育て応援事業、新たな取り組み応援事業
⑫日常生活自立支援事業の実施	20件、生活支援員37人	15件、生活支援員29人
⑬法人後見事業の実施	12件、市民後見人27人	９件、市民後見人33人
⑭社会福祉士現場実習生の受入 （岡山県立大学、新見公立大学、ノートルダム清心女子大学他）	受入：８人	受入：７人

７．生活支援体制整備事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①協議体の開催		
・総社市生活支援サービス検討委員会（第１層協議体）の開催	２回（８月・２月）	２回（６月・２月）
・圏域地域包括ケア会議（第２層協議体）の開催	３回（５月・９月・１月）	３回（５月・９月・１月）
・生活の支え合い活動検討部会の開催	３回（７月・10月・１月）	３回（８月・11月・１月） 社会資源マップについて 生活の支え合い活動に関する講座の開催について 社会参加に関する取り組みについて

・移動、外出支援検討部会の開催	３回（６月・９月・12月）	３回（８月・12月・２月） 地域の支え合いによる移動・外出支援について 移動・外出支援ガイドブック作成について 社会参加に関する取り組みについて
②社会資源の現状把握･活用･開発		
・地域の担い手･居場所づくり情報交換会	１回（２月）	１回（１月） 岡山県立大学と住民主体の地域福祉活動実践者との交流
・給食･買い物事業者情報交換会	１回（９月）	未実施
・生活支援サービスの立ち上げ支援	随時	２件 移動支援サービス（移動支援ふくたに） 買い物支援サービス（総社中央地区）
③総社市生活支援にこにこサポーター連絡会への支援		
・総社市生活支援にこにこサポート事業の実施 （住民主体による高齢者の生活支援サービス）	実利用者数：55人 目標：サポーター登録120人	実利用者数：56人 サポーター登録122人
・にこにこサポーター連絡会の開催 （総会、役員会、研修会、地区連絡会）	総会１回、役員会随時、研修会１回、地区連絡会５圏域（１回）	総会１回、役員会２回、地区連絡会１回 フォローアップ研修１回　参加人数32名 「はじめてでも大丈夫！スマホ教室」 講師：ドコモショップ総社店　狩屋　健治　氏
④介護予防・生活支援サポーターの養成		
・介護予防、生活支援サポーター養成講座の開催	２回（１回：７月～８月） （２回：10月～12月） 目標：受講者20人	２回（１回：８月～９月、全３回講座） （２回：10月～12月、全６回講座） 第１回：受講者11人　修了者６人 にこにこサポーター連絡会登録者４人

		第２回：受講者50人　修了者47人 にこにこサポーター連絡会登録者10人 講座内容： ①「総社市の現状・取り組みを知ろう！」 ②「認知症について学ぼう！」 ③「高齢者の暮らしを知ろう！」 ④「地域の支え合い活動を知ろう！」 ⑤「コミュニケーションの手法を学ぼう！」 ⑥「私たちにできることを考えよう！」
⑤そうじゃ60歳からの人生設計所事業との連携	随時	随時：ご依頼に応じてボランティアを紹介

８．介護予防拠点施設等の運営

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①さんあいの家、ひだまりの家、やすらぎの家、山手ふれあいセンターの指定管理	目標：利用者数 100人/月 地域福祉活動の拠点	さんあいの家：利用者数460人/月 （延べ5,521人） ひだまりの家：利用者数498人/月 （延べ5,982人） やすらぎの家：利用者数247人/月 （延べ2,972人） 山手ふれあいセンター： 利用者数616人/月（延べ7,402人）

９．障がい者福祉事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①障がい者基幹相談支援センターの設置運営		
・相談支援	延相談件数：5,000件	延相談件数：10,157件
②発達障がい者支援体制整備事業の実施		
・相談支援	延相談件数：3,000件	延相談件数：6,973件
・発達障がい支援者養成講座の開催	５回（11月～3月）	５回（10月29日～２月13日） 延受講者数1,222人（会場及び録画視聴） 内容：①発達障がいの理解 ②個々の理解に応じたかかわり ③わかりやすい伝え方 ④子どもからの発信を育てる ⑤ライフステージに応じた支援に向けて 講師：川崎医療福祉大学　重松 孝治 氏
・世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの開催	障がいのある方の作品展示 ４月２日～８日	障がいのある方の作品展示：４月２日～８日 （天満屋リブ総社店 チュッピースクエア） 作品数（55作品）来場者数（延335人）
・専門職派遣事業の実施	随時	０件
・子育て支援研修会の開催	１回（10月）	１回（２月）参加者数：19人 内容：子どもとより良い関係を築くためのポイントや子育ての考え方を学ぶ 講師：兒山志保美 氏（総社市スクールカウンセラー/岡山大学保健管理センター）

③障がい者千五百人雇用センターの設置運営		
・求職者の相談支援（生活面含む）	延相談件数：3,000件	延相談件数：2,925件
・就職者の職場定着支援	延相談件数：3,000件	延相談件数：2,701件
・就労支援セミナーの開催	１回（11月）	１回（３月７日） 参加者数：42人 （分野内訳） 企業15社・関係機関13機関・一般5人 内容：障がいのある方への理解を深め ともに働ける社会のために企業･ 支援者ができることを考える
・登録者の状況確認	１回（11月）：アンケートの実施	１回（11月）：アンケートの実施 対象者数：704人（回収率 34%）
・就職準備講座の開催	１回（１月）	１回（１月）参加者数：13人 内容：面接時における心構え等を学ぶ 講師：倉敷中央公共職業安定所 総社出張所　西山泰宏 氏
・工賃向上セミナーの開催	１回（９月）	１回（11月）参加者数：16人 内容：ももっ子おかやま・きぼうへの視察研修
・障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会への協力	千五百人雇用センターの相談ブースを設置	千五百人雇用センターの相談ブースを設置（相談者数：9人）
④障がい者地域活動支援センター（Ⅰ型）「ゆうゆう」の設置運営		
・日中活動支援	延利用者数100人/月	延利用者数　90人/月（1,085人/年）

・登録者の利用促進	登録者で利用できていない方への声かけ・状況把握	登録者で利用できていない方への声かけ・状況把握（対象者数：28人） （電話、郵送による状況把握/15人）
・障がい者ふれあいボランティア養成講座の開催	３回（１月）	３回（１月、２月）参加者数：4人 内容：①ボランティア活動の基礎講座 ②地域活動支援センターの現場体験 ③精神障がいのある方とかかわる上で大切なことを学ぶ 講師：川崎医療福祉大学 斎藤 由美 氏
・ゆうゆう通信の発行	12回	12回
⑤地域自立支援協議会の運営		
・全体会	１回（６月）	１回（６月）
・運営会議	４回（５月・７月・11月・１月）	４回（５月・７月・11月・１月）
・実務担当者会議	１回（３月）	１回（３月）
・専門部会・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑ、連絡会の開催		
・地域生活支援部会	12回（毎月）	４回（６月、９月、11月、１月） 【検討テーマ】 ① 障がいのある方が地域で安心して暮らしていくうえでの課題抽出と解決に向けた取り組みを協議する
・相談支援部会	12回（毎月）	11回（４月・５月・６月・７月・８月・９月・10月・11月・12月・１月・３月）

		【検討テーマ】 ① 相談支援専門員とケアマネジャーとの連携について ② 5ピクチャーズを用いた事例検討を深める
・就労支援事業所連絡会	2回（5月・8月）	2回（5月、9月） 【検討テーマ】 ① そうじゃてのひらマルシェの開催に向けた企画立案 ② ブランディング商品の開発について協議する ③ 事業所製品カタログの作成
・生活介護事業所連絡会	6回（隔月）	4回（5月、7月、10月、2月） 【検討テーマ】 ① 虐待防止・身体拘束・衛生管理・感染対策について ② 地域と事業所との連携強化について
・こどもに寄り添う部会	3回（5月・12月・3月）	2回（6月、9月） 【検討テーマ】 ① 総社市の障がい児における地域課題の抽出から課題解決を図る ② 総社市における通級指導・不登校支援を考える
・日中一時支援事業所連絡会	3回（7月・12月・3月）	5回（5月・7月・10月・12月・3月） 【検討テーマ】 ① 各事業所からの事例検討
・療育支援事業所連絡会	5回（5月･7月･9月･12月･3月）	3回（8月・10月・12月） 【検討テーマ】

		① 定型発達と特性の違いについて ② 通常発達について ③ 移行支援会議について
・医療的ケア児等支援連絡会	３回（５月・10月・２月）	４回（５月・７月・10月・１月） 【検討テーマ】 ① 個別避難計画について ② 医療的ケア児の地域の学校での受け入れについて
・ハートフルそうじゃ実行委員会	４回（７月・９月・11月・12月）	４回（７月・９月・11月・12月） 【検討テーマ】 ① メイン企画・サブ企画・広報企画・販売内容等の企画立案について
・障がい福祉フォーラム「ハートフルそうじゃ」の開催	１回（12月）	１回（11月） 日時：令和６年11月30日（土）13:30～16:00 場 所：山手公民館 テーマ：～想いの輪 心の輪 みんなでつなごう ハートフルそうじゃ～ 参加者数：530人
⑥障がい者（児）団体の支援		
・総社市身体障がい者福祉協会	会員相互の親睦と福祉の向上を図る	組織運営における相談対応・役員会の開催や行事の案内・準備など、会員相互の親睦と交流活動を支援する

１０．権利擁護事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①権利擁護センター運営委員会及び支援検討委員会の開催		
・運営委員会の開催	２回（４月・９月）	２回（４月・９月） 事業内容や進捗状況の評価 市民後見人養成に関する委員選考　など
・支援検討委員会の開催	６回 （奇数月、必要に応じて臨時開催）	６回（奇数月） 受任者調整：12件（うち高齢７件、障がい５件）、法人後見運営委員会：２件
・専門職支援チームによるケース会議	随時	該当ケースなし
②ワーキンググループの開催		
・中核機関体制整備ワーキンググループ	随時	２回（８月・１月） 市民後見人の活動拡充に向けた検討
・障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループ	２～３回	１回（７月） 親なきあとの問題や当事者の意思決定支援について協議
③成年後見制度に関する事業（中核機関に関する事業）		
・相談対応	延相談件数：1,000件	1,522件
・成年後見制度普及啓発事業	７～８月　内容：成年後見制度の意義と基本的な仕組みについて	１回（８月）　成年後見セミナー 参加者：26名 「知って安心！学ぼう成年後見制度」 講師：司法書士　宮川 康弘 氏

・市長申立て事務の補助	10件	７件
・市民後見人養成事業	目標：養成５人	養成：２人
・市民後見人フォローアップ事業	６回（定例研修会）	６回
・権利擁護推進講座の開催	１月～３月 目標：養成５人	４回（１月～３月） 受講者11人 「成年後見制度・日常生活自立支援事業の理解」 施設見学実習 等
・弁護士・社会福祉士による成年後見制度に関する無料相談の開催	12回	12回（毎月） 相談：10件
・後見人支援	随時	随時：後見事務に関する相談対応など
・後見等候補者リスト登録者との連携	２回 内容：ニュースレター発信	２回（５月・３月）
・後見等候補者リスト登録説明会	１回程度	１回（３月） 新規登録者３人 現在の登録者：専門職33人、法人９団体
④虐待対応に関する事業		
・相談対応	延相談件数：500件	1,044件
・総社市要保護児童対策地域協議会との連携	会議への参画	４回
・虐待防止のための研修会の開催	１回（７月）	１回（７月） 虐待防止研修会 参加者36人 「障がい者の権利擁護と差別解消 ～だれもが暮らしやすい地域へ～」 講師：岡山県社会福祉士会 佐藤 伸隆 氏

⑤入居等の支援に関する事業		
・相談対応	延相談件数：250件	448件
⑥犯罪被害者支援に関する事業		
・相談対応	延相談件数：10件	延８件
・犯罪被害者支援講演会の開催	１回（11月）	１回（11月）　犯罪被害者支援講演会 「身近に起こる犯罪被害の現状と被害者支援」　参加者33人 講師：被害者サポートセンターおかやま（VSCO）　片山 文 氏
⑦権利擁護推進に関する事業		
・法律ミニ講座の開催	10回　内容：「相続」、「家族法に関する諸問題」、「各種ハラスメント」など	10回（６月～３月） 延受講者：134人
・専門職対象の法律相談	延相談件数：15件	51件
・ネットワークの構築	「そうじゃ権利擁護ねっと」と連携及び入居支援に関するネットワークの構築	権利擁護ねっとの開催：２回 なんでも相談会：２回（相談件数：30件） 居住支援団体の情報交換会への参加

１１．生活困窮者支援事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①生活困窮支援センター相談業務		
・自立相談支援事業	延相談件数：10,000件	延相談件数：8,555件
・就労準備支援事業	プラン作成件数：５件	プラン作成件数：２件
・家計改善支援事業	プラン作成件数：24件	プラン作成件数：40件
・家計相談会	６回	６回
・支援調整会議	12回	12回
②生活困窮支援センター協議会及び専門部会の開催		
・協議会開催	２回（４月・９月）	２回（４月・10月） 【４月】 ・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画案について 【10月】 ・令和６年度事業中間報告、令和７年度事業計画案について
・常任委員会開催	随時	不開催
・就労支援部会開催	２回（９月・３月）	３回（８月・11月・３月） ・就労準備支援拠点事業（仮）の実施について
・学習支援、子ども食堂等支援部会	２回（８月・２月）	２回（７月・３月） ・学習等支援事業のアンケート調査実施に

		ついて
③学習等支援事業「ワンステップ」の実施		
・学習支援（中高生版）	毎週火曜日、金曜日19:00～20:30 参加者数：10人/回	延開催回数：91回 平均参加者数：５人/回
・学習支援（小学生版）	毎週水曜日15:30～16:30 参加者数：10人/回 NPO法人保育サポート「あい･あい」と連携	延開催回数：45回 平均参加者数：７人/回
・振り返り	２回	２回（７月・３月）
・オープンキャンパスへの参加	２回（７月～８月）	参加者無し
・社会体験プログラム	３回	５回 【５月】ﾌｧｼﾞｱｰﾉ岡山ｻｯｶｰ観戦 【７月】七夕会 【８月】食育体験（お好み焼き） 【12月】クリスマス会 【３月】3年生を送る会
・職業人の話を聞く会	２回	２回 【10月】調理師（中華料理店） 【３月】ネイルアーティスト
・各専門機関との連携	随時	随時
④食糧支援に関する事業の実施		
・関係機関との連携	・フードバンク岡山 ・順正学園ボランティアセンター ・おかやまコープ	食糧提供 順正学園：１件 おかやまコープ：８件

・フードドライブの実施	２回	２回（９月・３月）
・子ども食堂への食材提供	随時	随時
・岡山県立大学フードバンクとの連携	12回程度	０回
⑤ふくしネットそうじゃとの連携		
・生活支援物資の確保	フードドライブの実施	２回 【９月】47件、1,121品 【３月】30件、1,148件
・一時生活の場の確保	安心すまい応援事業の利用	３件

１２．ひきこもり支援事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
①ひきこもりからの社会参加の促進	目標：12人/年	８人/年（累計94人）
②ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の設置運営		
・相談対応	延相談件数：5,000件	延相談件数：3,549件
・ケース検討会の開催	12回	11回
③ひきこもり支援等検討委員会及び専門部会の開催		
・支援等検討委員会の開催	２回（４月・９月）	２回（４月・10月） 【４月】 ・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画案について 【10月】 ・令和６年度事業中間報告、令和７年度事業計画案について
・支援者養成部会の開催	２回（５月・３月）	２回（７月・３月） ・ひきこもりサポーター養成講座について ・地域住民への周知啓発について
④ひきこもりサポーターの養成		
・ひきこもりサポーター養成講座の開催	目標：養成20人 ３回講座（10月～11月）	養成７人 ３回講座（10月・11月）
・ひきこもりサポーター全体定例ミーティング	６回	７回

・ひきこもりサポーター係別ミーティング	・居場所、農園係　・研修係 ・イベント係　・広報係	・居場所、農園係10回 ・イベント・研修係６回 ・広報係３回
・ひきこもりサポーターフォローアップ研修	２回	２回（12月・３月）
・ピアサポーター育成	随時	１人 ・居場所農園活動等を通じた当事者同士の協働、また当事者としての経験を伝える場の提供を通じ、当事者同士のリーダー的存在としてフォローアップした
⑤居場所の設置、運営		
・ほっとタッチの設置・運営	延来所者数：700人	延開所日数：241日 延来所者数：658人
・ほっとタッチぽえむの設置・運営	延来所者数：100人	延開所日数：50日 延来所者数：94人
・夜型居場所の設置・運営	20回 延来所者数：50人	16回 延来所者数：55人
・常設居場所以外の体験型の実施	10回	13回 ・畑での野菜栽培、花植え
⑥ひきこもり家族会への支援、参加家族の拡充		
・研修会の実施	１回　内容:ひきこもり状態にある人に対して、家族の立場でどのように関わればよいか	２回（11月・２月） 【内容】 ・オープンダイアローグ（開かれた対話）に関する講義及び演習 【参加者】11月：16人、２月：14人

・情報交換会（定例会）	12回	12回
・通信の発行	家族会だより等の発行	１回（３月） 総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会だより」の発行
⑦ひきこもり支援フォーラムの開催		１回（３月） 場所：総合福祉センター３階大会議室 内容：『経験者が語るひきこもり～同じ未来をみるために～』と題し、ひきこもりＵＸ会議の林恭子氏による講演 『当事者や家族にとってやさしい地域とは？』をテーマとし、当事者経験者、家族、地域住民サポーターによる実践発表及びパネルディスカッション
⑧全国ひきこもり支援基礎自治体サミットへの協力		未実施
⑨ひきこもり者現状確認と地域との連携		
・民生委員児童委員協議会定例会等への出席	各地区１回以上	各地区２回、累計28地区
⑩教育・福祉・保健医療の連携強化		
・ひきこもりケース検討会（備中保健所、健康医療課、スクールソーシャルワーカーとのケースの共有、支援の検討）	10回	11回
・不登校をきっかけとしてひきこもりとなることが想定される対象者についての意見交換会	１回以上	１回

⑪周知啓発活動	・ひきこもり支援センター紹介チラシの配布 ・若者向けのチラシ作成、配布 ・社協だより等への記事掲載 ・ホームページ・Facebook等により情報発信	・Facebookの更新　13回 ・社協だよりへの記事掲載 ・ホームページへの掲載 ・ミニ出前講座「ひきこもり支援センターの取り組み」 ３件実施（民生委員、福祉委員、医療機関における研修会）

１３．　重層的支援体制整備事業の実施（新規）

内　容	実施回数・目標など	実施状況
・包括的相談支援事業	対象事業 ・障がい者基幹相談支援センター ・障がい者千五百人雇用センター ・生活困窮支援センター ・ひきこもり支援センター ・権利擁護センター	各事業実績のとおり
・地域づくり事業	対象事業 ・生活支援体制整備事業 ・地域活動支援センターゆうゆう	各事業実績のとおり
・多機関協働事業	対象事業 ・権利擁護センター	相談件数（実世帯数）15件 重層的支援会議５件、支援会議７件 多職種・多機関連携に向けた研修会 「まるっと・つながる研修会」参加者：62人

１４．在宅福祉サービス事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
① 介護保険事業		
・居宅介護支援事業		
ケアプラン作成	目標：170人/月	実利用人数：147人/月
定期的な再評価	１回/月	１回/月
・訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）	目標：120人/月	実利用人数：108人/月
・研修会の実施	10回	10回
・家族への満足度アンケート実施	年１回	１回（２月）
② 障がい福祉サービス事業		
・相談支援事業（サービス等利用計画の作成）	目標：延900人	実利用人数：689人
サービス等利用計画の実施状況の把握及び継続的な評価	６か月に１回	６か月に１回
・障がい児相談支援事業		
障がい児支援利用計画の作成	目標：延600人	実利用人数：364人
計画の実施状況の把握及び継続的な評価	６か月に1回	６か月に１回
・障害支援区分認定調査	目標：延50人	実利用人数：134人
・居宅介護事業（ホームヘルパー派遣）	目標：60人/月	実利用人数：57人/月
・移動支援事業	目標：延80件	実利用件数：87件

③ 車いす貸出事業	目標：延50件	実利用件数：83件
④ 虐待防止委員会開催	年１回	１回（７月）
⑤感染対策委員会開催	年２回	２回（４月・12月）
⑥事業継続計画（BCP）の策定及び 災害時机上訓練の実施	年１回	１回（２月）